



アンケート調査票



1. まちづくりの取組について

協議会では、昨年度行ったアンケート結果を踏まえ、まちの現状や課題を踏まえたまちづくりの取組について話し合いました。

以下①～⑫の取組は、当地区のまちづくりにどの程度必要だと思いますか？あなたの考えに最も近いものを選択肢の中から1つ選び、それぞれ○をつけてください。

★印が付いている設問は、まちづくりニュース中面の補足説明も併せてご覧ください。

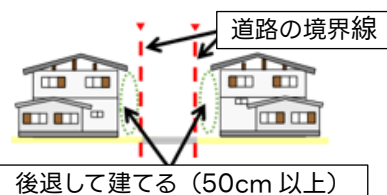
※①～⑪のルールは、建替えの際に守るべきものであり、建替えるまでは現状のままで問題ありません。

まちづくりのルール（地区計画）に関する取組

① ゆとりある街並みを確保するルールづくり★1

道路境界から建物の外壁を50cm後退することで、火災の延焼を抑止する空間、地震時の避難のための空間としても機能する、ゆとりあるまち並みを確保する。

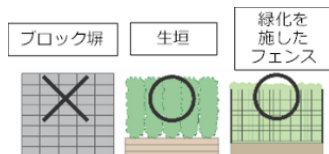
※建物を50cm後退した部分には、工作物（室外機や自転車等）の設置が可能です。



1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

② 歩行空間の安全性を高めるルールづくり★2

道路に面する危険なブロック塀等を減らし、災害時の倒壊リスクを低減させる。あわせて生垣や緑化フェンス等により緑化を推進する。

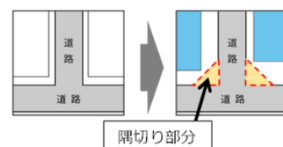


1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

③ 見通しを良くするルールづくり

交差点の見通しを確保するために、角地に隅切りを設ける。

※隅切り部分の土地は自己所有のままで、敷地面積からは除かれません。



1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

④ 静かな住環境を維持するルールづくり

地区にとってふさわしくない用途の建物の新規立地を規制することで、現状の住環境を維持する。



1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑤ 現状のまちなみを維持するルールづくり

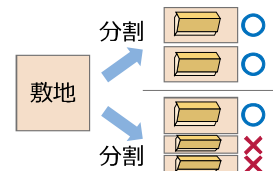
建物の高さの最高限度を定めることで、周囲から突出した高さの建物の立地を防ぎ、調和のとれたまち並みを形成する。



1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑥ ゆとりある敷地を確保するルールづくり

現状指定されている最低敷地面積 70 m²より更に厳しくすることで、細分化を防止し、ゆとりある住環境を確保する。



1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑦ 周辺環境との調和を促すルールづくり

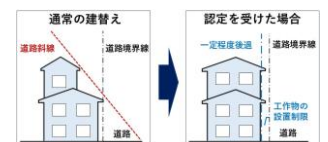
建物の外観の色彩を制限することで、奇抜な建物が建つことを防ぎ、周辺環境と調和した景観を維持する。



1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑧ 整った街並みを形成するルールづくり（街並み誘導型地区計画）★3

道路境界から建物の外壁を 50cm 後退するルールを定め、あわせて建てられる床面積の上限と、前面道路による建築制限を緩和することで 3 階建てが建ちやすくなり、整った街並みを形成する。



※必ずしも「3 階建てにしなければならない」という主旨のルールではありません。

※建物を 50cm 後退した部分には、工作物（室外機や自転車等）の設置ができません。

1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

自由意見

道路・公園・建物の整備や更新に関する取組み

⑨ 幅員 6m 以上道路への拡幅整備

地区内の既存の道路のうち、幅員が狭い道路を対象として、災害時の避難や緊急車両の通行等に有効な、幅員 6m 以上の道路へ拡幅整備する。

※協議会では、「敷地面積が小さい宅地も多く、道路沿道の地権者への負担も大きいため、拡幅整備は厳しい」との意見が出ています。

1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑩ 新たな防火規制の導入★4

建物の耐火性能に関する基準を新たに設け、火災に強い構造を持つ建物を増やすことで、災害時の延焼や倒壊のリスクを軽減する。

1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑪ 老朽化した建物の建替え促進

災害時の火災による延焼や建物倒壊による被害を軽減するために、建築基準法で定められている最低限の道路幅員である 4 m を確保し、老朽化した建物の建替えを促進する。

1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

⑫ 日常的な憩いの場や、災害時に一時的に避難できる場所となる公園の確保

子どもから高齢者まで、地区住民の憩いの場となり、災害時に一時的に避難する場所としても機能する公園を整備する。

1. 必要 2. どちらかといえば必要 3. どちらかといえば必要ではない 4. 必要ではない

自由意見

2. まちづくりの目標と方針について

協議会では、まちの課題やその改善策、まちの良い点等を踏まえ、「まちの目標」と、「まちづくりの3つの方針」を次のように設定しました。

【目標】 誰にとっても安心でき、心育むまちを次世代へ

【方針1】 災害に強く、地域で対応できるまち

【方針2】 うるおいやゆとりを感じ、楽しく安全に歩けるまち

【方針3】世代や国籍を超えて、みんながつながり助け合えるまち

上記の目標・方針は、当地区のまちづくりが進むべき方向としてふさわしいと思いますか。
あなたの考えに最も近いものを選択肢 1～3 の中から 1 つ選び、それぞれ○をつけてください。

【目標】 誰にとっても安心でき、心育むまちを次世代へ

1. ふさわしい 2. ふさわしくない 3. その他 ()

【方針1】 災害に強く、地域で対応できるまち

1. ふさわしい 2. ふさわしくない 3. その他 ()

【方針2】 うるおいやゆとりを感じ、楽しく安全に歩けるまち

1. ふさわしい 2. ふさわしくない 3. その他 ()

【方針3】 世代や国籍を超えて、みんながつながり助け合えるまち

1. ふさわしい 2. ふさわしくない 3. その他 ()

3. 回答していただいているあなた自身について

あなた自身について、差し支えない範囲で教えてください。

(1) 回答者の年代	1. 20 歳未満 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代 8. 80 歳以上
(2) 居住または権利をお持ちの場所	1. 平井一丁目 2. 小松川四丁目
(3) 所有形態	1. 持ち家（戸建住宅） 2. 持ち家（集合住宅） 3. 賃貸 4. 商売や事業をしている建物 5. 土地のみ所有 6. その他（ ）
(4) 世帯構成	1. 単身 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯（親と子） 4. 三世帯世帯（親と子と孫） 5. その他（ ）

質問は以上になります。ご協力ありがとうございました。